

アシジで過ごした夢の3日間

イタリア巡礼に参加して

キアラ・中井さつき

巡礼2日目。 パパさまに会えるとワクワクしていたのに、予報どおりの雨の中、ホテルを出発しました。サンピエトロ広場は数えきれないほどの椅子が並べられ、4つの大きなスクリーンも設置され、たくさんの人また人でした。パパさまが通られる道筋の両脇に陣取る人垣で柵が倒れないかと気になるほどでした。降る雨と濡れた石畳みに汚れも気にせず、祝福を待つ何組もの新郎新婦もありました。パパさまの車での祝福が始まると不思議に雨はあがり、雲間からは光もさしてきました。何か国もの言葉で世界中の人に届けられるメッセージの内容は全くわかりませんが、その思いはしみじみ感じることができ、1時間あまりの間、広場中の人々が思いをひとつにしていました。



午後からはアシジに出発、夕暮れのサンタ・マリア・デリ・アンジェリ教会でのミサに与りました。聖フランチェスコが祈りの中で聞いた「教会を建て直しなさい」とのお言葉で修復したホルティウクラがそのままの姿であり、そこでお祈りをすることができました。

巡礼3日目。 聖フランチェスコ修道院でプライベートミサに与り、アシジにいらっしゃる李神父さま、シスター金の案内で修道院と聖フランチェスコ大聖堂を巡りました。聖フランチェスコの修道服も残されており、その質素さに驚きました。午後、聖キアラ大聖堂を訪れました。地下に安置されている聖キアラの棺の前には跪いて囲んでいるガラスに手を押し当てて祈る人、足を投げ出して座り、じっと黙想している人と多くの女性が深い祈りの中にありました。私もその人たちの中にとすぐそばに聖キアラがいてくださるような雰囲気にも包まれました。

巡礼4日目。 予定されていた御聖堂ではなく、聖フランチェスコ大聖堂の地下聖堂、聖フランチェスコの棺の前でミサに与ることができました。李神父さまとの共同司式でまるで夢のようでした。次に訪れた聖ルフィノ司教座聖堂では、偶然フィリピン出身のシスターがお花の準備をされているところで、ランディ神父さまがお話してくださり、案内していただくことになりました。聖フランチェスコ、聖キアラも洗礼を授かった洗礼盤に手を置きお祈りすることができました。



中世そのままの街を巡り、聖フランチェスコの生家にも寄りました。家を出る決心をした聖人が閉じ込められていた家の中の牢もありました。サンダミアーノ修道院への道すがら、石畳みに鳥の巣が落ちているのを見つけ、「これは聖フランチェスコの説教していただいた鳥の巣かな！」とびっくりしました。夕の祈りは聖キアラ大聖堂で捧げました。

巡礼5日目。 3日間宿泊したアシジガーデンはアシジ郊外の林の中にあり、もとの修道院そのままの雰囲気の、いつでも御聖堂でお祈りすることができました。5日目の朝はそこでミサをささげ、アシジをあとにしてフィレンツェに向かいました。